

第76回 清代の社会と文化

1 清代の社会経済

- 清の支配が安定すると、明代以来の海禁をゆるめてヨーロッパなどとの交易を行うようになり、()・()・()などを盛んに輸出した。
→輸入に頼る品物はなく代価として()が大量に流入し、海関で税を徴収した。
- ()やサツマイモの栽培が盛んとなり、人口が急激に増加した。
→人口増加によって、過密な地域から新しい地域に移住する人も多かった。
→東南アジアなどに移住して()となる者もいた(南洋華僑)。
→現地で商業的に成功して、地域の有力者となる人もあらわれた。
- 地方では()と呼ばれる有力者が力を持っていた。
→一方で自作農民の抗糧や、都市民の民変など民衆の反抗もあった。



アフタヌーンティー

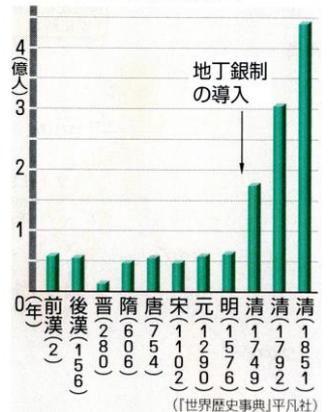
当時イギリスでは、午後に紅茶を飲むことが大ブームとなっていた。そのためイギリスは、中国から茶を大量に輸入していた。



中国のトウモロコシ

トウモロコシは、アメリカ大陸を原産とする作物である。荒れた土地でも収穫できるため、黄河流域で大量に栽培された。現在でもアメリカに次ぐ世界第2位の生産国である。

中国歴代の人口



2 新しい儒学

- 儒学では、明末清初の混乱の中で、学問を通して社会を正そうとし歴史的事実にもとづく実証的な儒学である()が創始された。
→清の弾圧によって、古典の解釈を精密に行うだけの学問となっていった。
- 清末には、より実践的で政治改革を主張する()も盛んとなった。

<考証学>

- ()…明末清初の思想家で、清に仕えず、政治批判を行った。
- ()…明末清初の思想家で、やはり清に仕えず、反清活動を行った。
- ()…厳密な史料批判による歴史研究を行い、考証学の大家となった。
段玉裁 …清の思想家で、『説文解字』の注釈を行った。

<公羊学>

- 魏源 …アヘン戦争の際に、林則徐の依頼で『海国図志』を書いた。
- ()…清末の政治家で公羊学の立場から変法運動を指導した。



黄宗羲



顧炎武

朱子学や陽明学の学者が、自分の見解によって「四書五経」を解釈することを批判した。2人とも考証学の先駆者とされている。



魏源

『海国図志』は、西洋の先進技術を学ぶことで、外国の侵略から中国を守ろうとする意図があった。江戸時代末期の日本にも紹介された。



康有為

公羊学とは、孔子の理想を現実の社会に実現しようとする政治学に近い儒学である。康有為については、後の時代に詳しくやることにしましょう。

3 清代の学問と芸術

<国家的編纂事業>

- 『 』…康熙帝の命で編纂された、4万2000字を収める漢字辞典。
『 』…康熙帝の命で編纂された、中国最大の類書（百科辞典）。
『大義覺迷録』…雍正帝の命で、清の中国支配を正当化した書物。
『 』…乾隆帝の命で編纂され、重要な本を分類・整理した叢書。
経・史・子・集の四庫に分類した。

<小説・戯曲>

- 『 』…曹雪芹の作。満州貴族の栄枯盛衰を描いた長編小説。
『 』…呉敬梓の作。科挙や官僚の腐敗を風刺した長編小説。
『 』…蒲松齡の作。民間の説話からとった仙人や幽霊の物語などを含む短編小説集。



『儒林外史』の挿絵

当時は、科挙に合格して出世するのが幸福への近道だと考えられていた。しかしこの小説は科挙官僚がいかにか常識知らずのアホであるかを、痛烈に皮肉った作品である。

『長生殿伝奇』…白樂天の『長恨歌』をモチーフに、玄宗と楊貴妃のラブロマンスを描いた戯曲。

『桃花扇伝奇』…文人と美女のラブロマンスを描いた戯曲。

<美術>

- 石濤 …明末清初の画家。山水・花鳥を描いた。
八大山人 …明末清初の画家。山水・花鳥・竹石を描いた。

4 清代の宣教師の活動

- 明代に続き、ヨーロッパから中国を訪れる（ ）の宣教師たちは、進んだ科学技術を伝えた。
→宣教師たちは中国の歴史や文化を西欧に伝え、シナ学という学問が発達した。
→芸術面ではフランスを中心に（ ）という中国趣味が流行した。

アダム=シャルル …明末に活躍した。清にも仕え暦の作成に貢献した。

() …ベルギー人宣教師で、世界地図である『坤輿全図』の作成や、大砲の鑄造などを行った。

() …フランス人宣教師で、レジスとともに清の康熙帝の命令で、中国最初の実測地図である『 』を作成した。

() …イタリア人宣教師で（ ）の設計を行った。
また西洋絵画の画法で乾隆帝の肖像画を描いた。



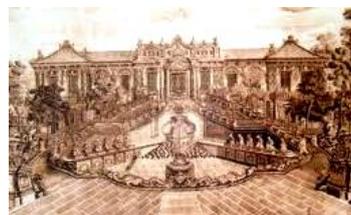
フェルビースト(南懷仁)

明の滅亡後は清に仕えたアダム=シャルル(第73回)と協力し、布教や西洋の学問の紹介を行った。三藩の乱の鎮圧では、彼の火砲が活躍した。



ブーヴェ(白進)

『皇輿全覽図』は、初めて実測を行って作られた中国の地図である。『坤輿万国全図』とは違い、世界地図ではないので注意。



廃墟となる前の圓明園

カスティリオーネ(郎世寧)は、乾隆帝に仕えたイエズス会士。バロック式の圓明園は、北京の郊外に建設されたが、アロー戦争で廃墟となった。